日本共産党
流山深井後援会

ニュースあすなろ

14年2月15日
第180号
発行責任者
菊池 伍郎
TEL/FAX
7154−0526
（部内資料）

暴走安倍政権ストップ

国民の声味方に大きな党へ

1月24日（金）、日本共産党流山市後援会・日本共産党流山市委員会主催の「新春のつどい」が生涯学習センターで開かれました。

アコーディオンに合わせて参加者が歌い、期待と共に、和やかにつどいが始まりました。

生活と健康を守る会と日本共産党が、問題の解決に携わり、窮地を救われた女性の話は参加者の胸を打ちました。

その後、1月に日本共産党が行った第26回党大会に参加した浮揚幸裕千葉県委員長が、大会でのエピソードを交え、安倍政権の暴走ストップ・自共対決の時、原発ゼロ・TPP・秘密保護法廃案・沖縄の基地問題等、国民の声に耳を傾け、力を合わせて自公政権と対決しようと話しました。

植田市議と市議団文化会館前で

「新春のつどい」に参加して

歌声で始まり、歌声で終わった「新春のつどい」でした。挨拶や活動の報告・決意などがたくさん続くのかな、と思っていたのですが、そんなことはなく、コンパクトにまとまっていて良かったです。抽選会もありました。

経済的に困っていた若いお母さんは、共産党などの人たちに援助してもらい前向きに生活していけるようになったという話をしてくれました。

千葉県委員長は「自共対決」の時代に入ったが、国民の過半数の声は私たちの味方である、このことに確信を持つことが大切であると強調しました。

「秘密保護法」にしても、政治色のない団体である日本弁護士会や刑法学会も反対を表明しているということです。

千葉県議選では流山市からも候補者を出してほしいと述べました。植田市委員長も千葉県議選について触れました。候補者を流山市から出したいと述べたうえで、私たちの選挙区では定数二名を自民党と社民党がとっているが、社民党に勝って議席の一つをわが党がとるなどと考えてはいけない、自民党と真正面から対決していくことが大切であると話していました。なるほどと思いました。

（西深井S）

植田和子12月議会報告会

補正予算に修正案 可決

2月2日（日）午前、江戸川台東自治会館で、植田和子議会報告会が行われました。

こぶし後援会会長小倉卓郎さんが挨拶した後、植田市議が報告しました。

12月議会は2014年度予算編成が始まる時期の議会です。日本共産党議員団は、市長に予算編成の姿勢を正していきました。

補正予算については、東深井中と常磐松中に特別支援学級を開設するための請負工事費追加などうれしい面もありましたが、運河の土手（理科大側の野田市の土地）に桜の木を6本植える事業が突然組み込まれていました。植樹・管理の費用101万9000円。財源は財政調整積立金から取り崩す。というものでした。

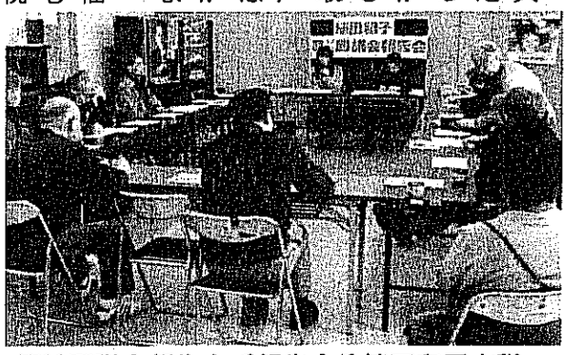
流山・野田市共市民からの要望書はありません。議会への事前の相談も、街づくり顧問への相談もありませんでした。

日本共産党は、この項目を全額削除する修正案を提出。賛成15人、反対11人で可決されました。流山市議会で補正予算案が修正可決されたのは前例のない出来事でした。

学校間格差解消へ具体化

12月議会もう一つの特徴は、市内小中学校の学校間格差の解消に向けて取り組みをより具体的に前進させたことです。4人の議員団で3ヵ月かけ視察・訪問、6月9月と議会で取り上げ、特に江戸小のトイレ問題は議会内では誰もが知る問題となりました。

所属する教育福祉常任委員会でも市内小中学校の視察・訪問を提案。1月20日21日に学校教育部長・課長も同行して8校訪問。（2頁4段へ続く）



第11回議会報告会で報告する植田和子市議

原発から撤退 ただ今原発ゼロ!!

こんにちは 植田和子です

1月17日 おはようございます。市政に関する事ではないのですが、今日の読売新聞の折り込みに、東深井のネグロス跡地にできる商業施設の地元説明会開催の案内チラシが入っていましたので、一応、お知らせします。説明会日時・場所1回目：H26年1月24日19時、2回目：H26年1月25日10時　開会、会場：森の図書館（詳細略）

1月27日（美原1丁目信号そばの撤去されたままのカーブミラーの再設置を依頼）カーブミラーの件、道路管理課で聞いてきました。撤去した理由は倒れたから、だそうです。只今、発注したとのことで、2月中旬までには新しく設置されるそうです。（2月7日に設置）改めて「声に出して言う」って大事ですね。

2月5日　2日の議会報告会は、大変お疲れさまでした。今回も貴重なご意見・ご要望などなど、たくさん聴くことが出来ました。ありがとうございました。

2月9日　大雪、凄かったですね。雪かきなど、みなさんは大丈夫ですか？土木部で雪かきをしてまわっていますが、基本的に幹線道路や小学校の通学路だけです。住宅地の道路については、要望がないとしてくれません。もし、お困りの方は、土木部道路管理課に連絡してください。

（7150・6093）

ヘッドライト

知る権利というのは何だろう。秘密保護法問題で改めて考えさせられる。何でも情報を流せば良いというものでもあるまい。私達はマスメディアが選んだ情報を知らされて踊らされる▼NHKのオリンピック報道は何ヶ月も前から「全力応援」とこれでもかと同じ情報を繰り返し○○選手は金メダル確実…。日本の金メダルの予想は……とメダル競争を煽る。その騒ぎの中でTPPも消費税もどこかへ行ってしまっている。都知事選挙も報道するかと思えば、後出しの舛添氏や忘れられた存在の細川氏や小泉氏の話題ばかり、都政の課題などどこへやらだ。大衆迎合の政治をポピュリズムというが、まさにそれをリードをしている▼STAP細胞という、万能細胞を作り出す、新たな手法という大発見。それを成し遂げたのは理化学研究所の小保方晴子さん。若い女性研究者だというので、連日、取材、報道で追いまくられ、身の回りを探られ、身内や知人に迷惑がかかり、研究生活も出来ないと「いい加減にして」といわんばかりの声明を出した。政治も科学もだめにしかねない。報道の任務を自覚して欲しいものだ。